

# S・O・Ra-Cube

tereo    ptical    ck



S・O・Ra-Cubeに投影機をセットした状態

本カタログに掲載しています投影機器、PC、モニター等は、S・O・Ra Cubeおよび専用PCラックに付属していません。お客様にてご用意をお願いします。

外観



外観は石川県の伝統工芸である輪島塗風の塗装に金箔をあしらいました。(金箔は別料金)

前カバー



前カバーには放熱ファンと円偏光板を取り付けました。前カバーを取り付けるだけで偏光板の調整の必要はありません。

偏光板保護カバー



運搬時の偏光板の破損防止のために金属製の保護カバー(付属品)が付けられるようになっています。

投影軸の調整



下部投影機の映像を本体のアジャスターで調整。次に上部投影機後方のつまみを回すだけで投影機のチルトの微調整を行い、2つの映像を重ねます。

運搬



投影機を含めても約25kg。しかも形状がCubeなので持ち運びが簡単で車載時にも場所を取りません。

無限の宇宙空間を3D投影するS・O・Ra (エス・オー・ラ) Cubeでは知の象徴と言われる立方体に投影機2台を内蔵できます。軽量かつ堅牢であるため、装置の運搬をいっそう手軽にしました。また、運搬後の設置に欠かせない投影軸の調整も簡単にでき、3D投影の準備が短時間で済みます。S・O・Ra-Cubeを使用し、国立天文台4次元デジタル宇宙プロジェクトで開発されたMitakaで宇宙の歴史などの3D映像をどこでも手軽に学習することができます。

<http://www.world-sds.co.jp>

**SDS エスディエス株式会社**

金沢工業大学 サイエンス コミュニケーション プロジェクト 共同開発



# S·O·Ra-Cube



国立天文台 4次元デジタル宇宙プロジェクトMitakaを、どこでも自由楽しめることを目指し、設置調整が簡単な映写機用モバイルラックを作りました。

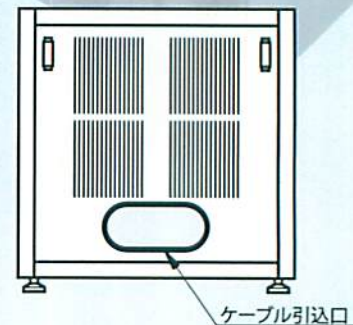
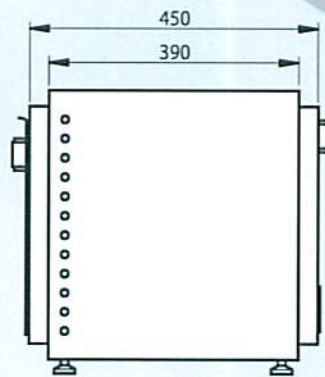
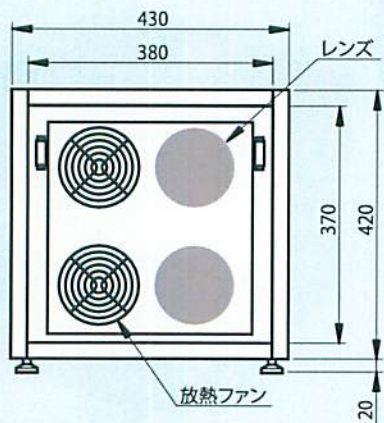
この製品は金沢工業大学サイエンス コミュニケーション プロジェクト・金沢工業高等専門学校南出研究室と弊社SDSとの共同で開発されました。

## ◆ 基本仕様

### S·O·Ra-Cube

SORa200は、主構造部材としてアルミニウムを使用しています。このため軽量ながら十分な強度を確保しています。

型式	SORa-SCP01
寸法	W:430×H:440×D:450
重量	24kg
標準価格	210,000円



## ◆ 投影サイズ

BENQのシミュレーション頁からご確認ください。

[http://www.benq.co.jp/images/archive/bqjp/products/Projection\\_Calculator\\_v2\\_0603\\_jp.swf](http://www.benq.co.jp/images/archive/bqjp/products/Projection_Calculator_v2_0603_jp.swf)

- 4D2Uのシステムや搭載機器などについては、お客様が天文台などのホームページや関連する機器資料などからお調べください。(当社ではシステムや搭載機器などについての案内はしていません)
- 搭載可能プロジェクターについては図面をご参照の上、お客様でご確認ください。
- 発注時に搭載プロジェクターの機種をお知らせください。(固定用の孔加工後お送りします。)



導入についてご質問がありましたら、サイエンス コミュニケーション プロジェクトの中村または竹俣までご連絡ください。

junsei@neptune.kanazawa-it.ac.jp  
takemata@neptune.kanazawa-it.ac.jp

## SDS エスディエス株式会社

本社・工場 〒924-0011 石川県白山市横江1003番地  
TEL : 076-274-1003 FAX : 076-274-0399

東京営業所 〒101-0032 東京都千代田区岩本町3-11-15  
アーバンネット 岩本町ビル 3F  
TEL : 03-5820-1003 FAX : 03-5820-1004

